



The Star in the West

東京西ワイズメンズクラブ会報

THE SERVICE CLUB FOR THE YMCA

THEY'S MEN'S CLUB OF TOKYO-NISHI(03)3202-0342

c/o TOKYO YMCA YAMATE CENTER,2-18-12 NISHIWASEDA,SHINJUKU-KU,TOKYO 169-0051,JAPAN

国際会長主題 「価値観、エクステンション、リーダーシップ」
 アジア会長主題 「変化をもたらそう」
 東日本区理事主題 「変化を楽しもう！」
 あずさ部部長主題 「変わるに挑戦！」
 東京西クラブ会長主題 「変化を恐れず、少しずつ」

2021年4月号

NO 535

地の果てから、歌声が聞こえる。「主に従う人に誉れあれ」と、しかし、わたしは思った。「わたしは衰える、わたしは衰える。わたしは災いだ。欺く者が欺き、欺く者の欺きが欺く。

イザヤ書24章16節

私達がまもること

大野貞次

今月の強調テーマは「LT (リーダートレーニング)」と RBM (ロールバック・マラリア撲滅)」です。

リーダーシップトレーニングは、わがクラブの力は段々と衰えて来ていますので、ここで新しいことにチャレンジできるようにしなければと考えるのですが、妙案が浮かびません。困ったものです。若い力が欲しいですね。

さて今は、新型コロナウイルス感染症の収まりが見えない中、恐れを感じながら過ごす毎日です。見えないウイルス、どこでいつ感染するか分からない。

今月のテーマのもう一つに (RBM) マラリア撲滅運動があります。マラリアは蚊の媒介によるものですので、蚊に刺されないようにすることの対策が取れますが、コロナ感染の方は、どこにその核があるのかわからず、ただ三密を避けマスクをし、手洗いをすることしかできない状況ですね。

特に最近では変異ウイルス株によるものが多くなりつつあるとの報道もあり、なおさら行動範囲が狭まり萎縮してしまいます。例会を開くにも制限が必要に感じられ、残念です。取り敢えず、守るべきものは守り、活動するしか、方法がないようですね。私のように、歳を取り体に疾患がある者はなおさらです。残念なことですが仕方がありません。

皆様も気をつけて生活していただきたいと思います。

今月の例会は「Zoom 例会」となります。例会としては初めての試みです。いろいろとご意見はあると思いますが?…さてどうなりますか。頑張ってみましょう。

これからの例会が正常にできる日まで、また夫々のプログラムが再開できることを願うばかりです。そして皆様と笑顔で楽しく過ごす日が来るようにしたいものです。良き日をすごされますように。



4月はクラブ初のZoom例会

4月の例会は、クラブとしては初の Zoom 例会とします。まだ始めていない方、不慣れな方もおられるので、自宅から参加するだけでなく、会場に集まって大きな画面でやれるように、両方で行えるようにしました。

卓話は、テレビの趣味の園芸でおなじみの恵泉女学園大学・園芸学教授の藤田智先生 (東京多摩みなみ) をお願いしています。詳しいことは、p2 の例会案内をご覧ください。(写真は先生の指導で収穫した東京八王子クラブの小口多津子さんの収穫物です)

クラブ役員

会長 篠原 文恵
 副会長 大野 貞次
 書記 本川 悦子
 会計 石井 元子
 担当主事 横山 弥利

3月の記録		ニコニコ	
在籍者数	12人	メネット	1人
(内功労会員)	1人	クラブファンド(当月)	0円
出席者数	11人	コメント	0人
出席者数	11人	クラブファンド(残高)	0円
ミーキャップ	0人	ビジター	0人
出席率	100%	ホテ校ファンド(当月)	0円
出席率	100%	ホテ校ファンド(残高)	0円
前月修正	0	ゲスト	0人
前月修正	0	出席者合計	12人
前月修正	0	WHO 参加者	0人

4月Zoom例会のご案内

**今月の強調テーマ：リーダーシップトレーニング
マラリア撲滅 (RBM)**

わがクラブのメンバーのほとんどは、戦中戦後に農業を体験した世代、いわば、「土の子」です。久しぶりに土をいじり、野菜作りをしてみたい、そのことを通して、社会とつながり、クラブライフを楽しみ意義あるものにできたら。そんな思いから、東京多摩みなみクラブの藤田智さんに卓話をお願いしました。藤田さんは野菜栽培とその教育がご専門の大学教授、一方NHKテレビ番組の人気者です。

今回は、クラブとして初めてZoomで行います。お楽しみにご参加ください。例会のプログラムは、通常例会とほぼ同じです

日時：4月15日(木) 18:45~21:00

会場：各ご自宅 会費無し、食事なし

山手センター3階 (Zoom参加者以外)

担当：A班 (大野、本川、村野)

HAPPY BIRTHDAY

15日 鳥越 成代

PC操作協力 田中博之さん (東京多摩みなみ)
渡辺大輔さん (東京武蔵野多摩)

司会 本川 悦子
開会点鐘 篠原 会長
ワイズソング(清聴) 一 同
聖書朗読・感謝 神谷 幸男

卓話 「コロナ禍における野菜作りの意味」
—プランター栽培のおすすめ—
恵泉女子学園大学人間社会学部・教授
藤田 智先生 (東京多摩みなみクラブ)

ハッピーバースデー
諸報告 会長 他
YMCA 報告 主事・横山弥利
ゲストとビジター紹介
(Zoom と山手センター会場で参加の方々との自由対話)

閉会点鐘 篠原 会長
記念撮影

—3月例会・事務会報告—

久しぶりに例会が開催された。といっても中心的事項は事務会といったところで、会食、ハッピーバースデー(12月~3月の4か月分)以外変則的にならざるを得なかった。

<協議事項=例会関係>

▼4月例会

日時: 4月15日(木) 18:15~21:45

会場: 山手センター3F 教室

卓話者: 藤田智さん (恵泉女学院大学教授 (園芸学)、東京多摩みなみクラブ)

卓話: コロナ禍における野菜づくりの意味

当日、Zoom方式も利用するため、例会開会前約30分Zoomの勉強会を行う(講師: 田中博之さん)。4月例会については、いわゆるハイブリット方式で行う予定なので吉田さんから詳しい説明を受けた。

▼4月事務会

日時: 4月22日(木)17:00~18:45

会場: ウェルファーム杉並 4F

通常使用していたウエルファーム杉並がコロナワクチン接種会場に予定されたため、西荻窪の勤労福祉会館に変更したが、定例会場が平常に戻ったので、今後も元の会場で事務会を開くことにした。

▼5月例会

日時: 5月20日(木)18:15~21:45

会場: 山手センター3F 教室

卓話: 「高齢者のアクティブエイジング (仮題)」

卓話者: 鴨澤小織さん (日本大学文理学部社会福祉学科准教授)

4月例会と同様にハイブリット方式を検討中。

▼5月事務会

日時: 5月27日(木)17:00~18:45

会場: ウェルファーム杉並 4F

<今後の予定>

◎5月8日(土)に開催予定のあずさ部第3回評議会は、18:15からZoom方式で行う。

あずさ部からは役員以外にも広く参加を呼びかけている。

(書記 本川悦子)

卓話者紹介

藤田 智 (ふじた・さとし) 先生



1959年、秋田県湯沢市生まれ。岩手大学農学部、同大学院修了。恵泉女学院短期大学助手、講師、助教授を経て、恵泉女学院大学准教授、現在教授として働く。

専門は、野菜園芸学、農業教育学。学生教育に重きを置くが、NHK 趣味の園芸「やさいの時間」講師、日本テレビ「世界一受けたい授業」講師なども務めている。東京多摩みなみワイズメンズクラブ・チャーターメンバー。

☆☆☆インタビュー☆☆☆92☆☆☆
荻野 清さんに聴く
 甲府21クラブ



—荻野さんは今年の東日本区大会の実行委員長。今年は例年と違った形で開催されるそうですね。

「準備を重ね、1月末にすべてが整い印刷物の制作にかかる寸前でしたが、大会自体は6月12日(土)午後に圧縮して、ハイブリットで行うことになりました。理事サイドに協力して、良い大会になるように最後まで頑張ります。ぜひ視聴、参加してください」

—ところで荻野さんの入会はいつですか。

「2015年12月、クラブ創立25周年の年でした」

—どなたの紹介ですか。

「最初に就職した会社の上司で、転職先にも誘われ、教会も一緒となった野々垣健五さんです。熱心に誘ってもらいました」

—迷いませんでしたか。

「そろそろという年齢でしたし、東京からの二度目のUターンだったので地域に密着したクラブ活動に興味がありました」

—ワイズを知っていましたか。

「山梨YMCA幼稚園へ長女と次女の入園を考えたことがありました。でもワイズのことは誘われた時まで知りませんでした」

—お生まれは山梨県ですね。

「はい。1954年に笛吹市石和町で生まれました。市政は2004年ですから石和温泉の方が知られていました。今は桃、ブドウの生産量全国一の地方自治体です」

—子どもの頃は、どんな子でした。

「小学校の高学年からスポーツ

にはまり、消極的な性格が積極的
 に変貌、数学と地理に興味があり、
 なぜか経済学に惹かれていきまし
 した。性格は優柔不断の面がありま
 したが、その後、けじめをハッキ
 リと付けられるようになったな、
 と思っています」

—中学、高校では。

「サッカーのみに夢中でした」

—大学は東京でしたね。

「ええ、6年間いました。大学で
 は、部活から解放されて、サッカ
 ーを同好会で楽しみました。2年
 まで勉強1割、遊び9割でした。
 3年からゼミの指導教授から原書
 のレポーターをさせられ、経済学
 が最大の興味となりました。でも、
 学友とは思いついて遊んでいまし
 たね」

—大学は、6年間でしたか。

「修士課程に進みました。教官
 の指導で、『経済学者が求める数
 学』と言う原著を訳したりもして
 いました。就職は山梨に戻り、老
 舗の百貨店に入社しました」

—百貨店が百貨でなく、ブランド
 ショップが増えた時代ですね。

「ええ。婦人服、紳士服バイヤ
 ーとして、ハウスマヌカンと春夏
 秋冬の扱い商品の決定など面白か
 ったですよ。外商部門では、one to
 one マーケティングを経験しま
 した。充実した24年間でした」

—次にコンサルタントですか。

「先に転職していた野々垣さん
 の誘いで、上京してコンサルタン
 ト会社で働きました。45歳になっ
 ていたので、主に医療系、介護系
 のコンサルを担当していました。
 16年間勤めて、地元に戻り、現在
 は医療法人経営の福祉事業のマネ
 ージメントをしています」

—ワイズの居心地は。

「定年後で、ひと仕事終えた気
 持でしたが、入会していろいろな
 会や催しなどへ参加する中で世の
 中の一員という感覚が強くなって
 きましたね。常に頭が働いていると
 いうか、制約が課されているとい
 う感覚もあります」

—ワイズメンに入会後にクリスチ
 ャンになられたそうですね。

「実は大学1年の時、キリスト
 教概論が必修科目で、後に学校の
 トップになられた当時は専任講師
 に何回も受洗を勧められました
 が、サッカーと学生生活をエンジ
 ョイし過ぎて、洗礼には至りませ
 んでした。野々垣さんに甲府教会
 へ行こうよ、と誘われスナリと
 妻と一緒に洗礼を受けました。直
 後に大学の恩師へ連絡をしたら、
 『40年間以上もよく考えてたね』
 と電話口で笑っておられました」

—甲府21クラブは、かつて書生っ
 ぽさを感じさせるクラブでした。
 数年前から、メンバー数が急に増
 加しましたね。クラブの中で何か
 が変わったと思うのですが。

「野々垣さんの説得力が大きか
 ったように思います。野々垣イズ
 ムが浸透し、後に続く人がそれを
 継承しつつ、数字でそれを越えよ
 うとされたからだと思います」

—中島竹男さんは。

「私が入会する直前に亡くなら
 れたのでお会いしたことはありません
 が、今日の甲府21クラブが
 あるのは、中島さんのおかげだ
 と言う人が大勢います。縁の下の力
 持ちだったのでしょうか」

—毎年暮にクラブの餅つき大会を
 自宅で開いておられましたね。
 話が変わりますが、現在のクラブ
 の地域活動の目玉は。

「ベビーカーコンサートです。
 小さな子どもさん連れで気兼ねな
 く参加出来て喜ばれています。ま
 た、山梨YMCAのキラキラ教室
 の生徒さん達と大根や白菜などの
 野菜を種蒔・間引き・収穫まで楽
 しい時間を過ごしています。その
 収穫物はYMCAバザーで販売し
 ています。身障者支援のフライン
 グディスク大会や障害者支援施設
 の支援を続行中です」

—荻野さんの座右の銘は。

「無知の知です。なぜか気が楽
 になる言葉ですよ」

—有難うございました。(吉田明弘)

私の大切な人

村野絢子

名古屋中央教会キャラバン隊

名古屋中央教会で田島正人牧師から洗礼を受けた。高校2年の時だった。カトリックの高校で歴史の教師の「ルターは教会の壁を汚す悪魔だ」との言葉に反発を覚え、通っていたプロテスタントの教会で洗礼を受け、教会員となった。その後、田島先生を隊長として伝道キャラバンに参加した。

大学生高校生の男女10人ほどが参加した。第1回は伊勢方面で尾鷲・久居…などの教会を訪ね、昼間に子供会、夜には地元の方々と伝道集会を開いた。事前の連絡、ポスター作り、子供会のプログラム、人形劇・紙芝居・ペープサートの準備と練習と夢中で過ごし、役割を決め、応援して下さる教会員宅にお寄りして沢山の差し入れを頂戴し、車に分乗して出発した。最初の教会は成功し、久居での夜に事件が起こった。4月号と5月号は原稿が逆ではと

2人の男性と私の3人が夜中に腹痛を起こし、外で並んで嘔吐する騒ぎとなった。開店したばかりのマーケットの食物による食中毒で救急車、警察、保健所のお世話になった。その経験からより細かい準備

が必要となり、2回目は能登方面に行った。金沢、七尾、輪島の教会を訪ねた。それぞれ特徴のある町で、能登金剛の荒海で松本清張の「点と線」を思い、静かな内灘で夜光虫と泳ぎ、輪島の朝市、礼拝堂の椅子で寝ている私たちを窓からのぞく子供たち、夜の牧師のお話は地元の人達との寛いだ中で、礼拝の説教とは一味違って興味深かった。その時の仲間は田島牧師と男性2人が召されたが、60年後の今も心の友として結ばれている大切な人たちである。



金沢教会

YMCA Today

■ホテル学校では124人のホテリアの卵たちが卒業を迎え、3月16日に卒業式ならびに校友会入会式を霊南坂教会にて挙行了しました。



霊南坂教会で卒業式



卒業生だけの卒業式

今年はコロナ禍の卒業式となり、保護者、来賓、講師の参加はありませんでしたが、卒業式の様子をライブ配信にてご覧いただ

くことができました。新社会人として巣立つこの時期は寂しくもあり、誇らしくもあります。今後の活躍を期待して見送りたいと思います。そしてもうすぐ2021年度がスタート。116人の新入生が入学予定。新学期が今から楽しみです。

■3月6日「東日本大震災10周年礼拝」がオンラインで開催され、会員、賛助会員、職員など43人が出席。黙禱に続き飯岡洋介氏(成増キリスト教会牧師)よりメッセージ、これまでの東京YMCAの支援活動報告がありました。また、福島の子を対象とした「リフレッシュキャンプ」にボランティアとして参加した三菱商事株式会社社員から、キャンプの所感が共有されました。

■3月6日「第8回日中韓平和フォーラム」がオンラインで開催。3ヶ国から計91人、東京YMCAからも2人の職員が参加しました。第1部「はなれていてもつながっている」テーマのもと、基調講演、各国レポート、平和活動の

情報共有、第2部はユースとシニアに分かれてのセッション。コロナ禍における北東アジアの平和構築に向けて課題が共有され、交流を深めました。

(担当主事 横山弥利)

編集後記

新型コロナウイルスが発生してから1年半が過ぎようとしています。昨年の今頃は例会も開くことができませんでしたね。皆さんと顔を合わせることが出来ずさびしい思いをした時期でした。

今年も新型コロナウイルスの変異株が猛威を振るいそうな気配の中、初めて「Zoom」による例会が開かれました。色々大変ではありましたが、多くの方が参加していただけました事に感謝いたします。

これからしばらくは例会の開催はこのような形で開くのではないのでしょうか。ところでそんな中寄稿していただきました事、感謝申し上げますとともに発刊が大いに遅れてしまいました事をお詫びいたします。(T.O)